

主要品目産地概況と販売見通し（令和8年9月）

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い

単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）
はくさい	¥ 124	¥ 100	▼	=	▲	¥ 100（¥ 106）
	産地概況	長野県産JA川上物産、川上蔬菜中心の入荷。中旬以降は秋作も出荷され、生産者の人数も増える事から順調な出荷が見込まれる。				
		総入荷量 260 t			前年比 104 %	
キャベツ	¥ 138	¥ 80	=	△	=	¥ 90（¥ 84）
	産地概況	群馬県産主力に長野県産の入荷。順調な入荷を予想。下旬の連休前には相場上昇を期待。				
		総入荷量 380 t			前年比 101 %	
ねぎ	¥ 330	¥ 250	▲	=	=	¥ 400（¥ 400）
	産地概況	石川・福井・北海道産の入荷。入荷が少なく相場も8月と比べ上がる見込み。後半から長野産の出荷が増えてくる。				
		総入荷量 66 t			前年比 100 %	
ほうれん草	¥ 867	¥ 660	=	△	△	¥ 880（¥ 913）
	産地概況	岐阜県産主力に北関東産地の入荷。基本的には高温期で出回りの少ない時期である為、高価格帯での取引が予想される。				
		総入荷量 18 t			前年比 95 %	
小松菜	¥ 220	¥ 250	=	△	△	¥ 380（¥ 367）
	産地概況	茨城産主力に県内産の入荷。茨城産は順調な入荷を予想する。後半の連休前には相場上昇を期待。				
		総入荷量 60 t			前年比 102 %	
アスパラガス	¥ 1,200	¥ 1,000	▲	=	=	¥ 1,100（¥ 1,100）
	産地概況	長崎・福岡・長野産の入荷。国産は終盤。中旬から輸入物が入荷が始まる。				
		総入荷量 7 t			前年比 100 %	

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い 単位:円/kg

品目	先月の単価			当月の市況推移			
	上中旬		下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

ブロッコリー	¥ 550	¥ 800	▼	▼	▼	¥ 600 (¥ 565)
	産地概況	北海道産を主に長野県産の入荷。両産地とも概ね安定した入荷を見込む。				
		総入荷量	80 t	前年比		95 %
レタス	¥ 62	¥ 140	▼	▼	=	¥ 130 (¥ 122)
	産地概況	長野県産の入荷。高冷地の天候に左右されるが概ね安定した入荷を見込む。				
		総入荷量	180 t	前年比		80 %
生椎茸	¥ 1,010	¥ 1,000	=	▲	=	¥ 1,026 (¥ 999)
	産地概況	菌床椎茸は、石川共販を中心に兵庫・富山・徳島産の入荷。石川共販に関しては、生産者1名脱退の為、今後極端に数量少ない見込。兵庫・富山・徳島産に関しては、安定出荷見込み。				
		総入荷量	19 t	前年比		106 %
しめじ	¥ 495	¥ 495	▲	▲	▲	¥ 530 (¥ 528)
	産地概況	JA全農長野物を中心に企業物（ホクト・ミスズ・雪国）の入荷。出荷は、JA全農長野物で計画減産が始まり減少。JA全農長野物とホクトは引き続き生育にバラ付きあり。価格は、入荷に不安定感はあるが気温上昇と共に荷動き鈍く、保合を見込む。				
		総入荷量	14 t	前年比		104 %
えのき	¥ 293	¥ 295	▲	▲	▲	¥ 300 (¥ 303)
	産地概況	長野県産中心の入荷。種菌が原因による生育不良や施設改修などのため、極端に入荷が少ない状況。保合見込。				
		総入荷量	32 t	前年比		102 %

品目	先月の単価			当月の市況推移			
	上中旬		下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

大葉	¥ 4,470	¥ 4,000	=	=	▲	¥ 3,500 (¥ 3,388)
	産地概況		愛知県豊橋温室からの入荷。入荷量は先月と同様に低調に推移するが、連休に向けて引き合いが強まり、相場は強めの展開となっていく見込み。			
			総入荷量 4.7 t		前年比 100 %	
春菊	¥ 1,851	¥ 1,867	▲	▲	=	¥ 2,050 (¥ 2,039)
	産地概況		岐阜県飛騨農協中心の入荷。週3回程度入荷予定。他産地が品薄で堅調な価格推移見込む。			
			総入荷量 1 t		前年比 100 %	
南瓜	¥ 302	¥ 280	=	▼	▼	¥ 235 (¥ 234)
	産地概況		北海道産主力の入荷。道北なよろ味早太、味平南瓜の入荷。昨年より若干少ないと予想。価格は昨年よりやや上げの見通し。			
			総入荷量 65 t		前年比 101 %	
胡瓜	¥ 501	¥ 430	▲	▲	=	¥ 450 (¥ 462)
	産地概況		福島県産主力の入荷。長期雨よけ、露地作の出荷が気温の低下とともに減少し、相場は強保合で推移する。群馬県産の抑制タイプが早ければ下旬以降入荷予定。			
			総入荷量 200 t		前年比 99 %	
茄子	¥ 423	¥ 410	▼	▲	▼	¥ 390 (¥ 400)
	産地概況		山形・群馬県産主力に中旬以降高知県産の入荷予定。群馬県産は上旬以降台風被害の影響も無くなり出荷量はやや増加する見通し。			
			総入荷量 100 t		前年比 101 %	
トマト	¥ 422	¥ 440	=	▲	△	¥ 600 (¥ 585)
	産地概況		石川・岐阜県産の入荷。上旬は石川県産のピークを迎える。また、下旬には岐阜県産のピークも迎えることから、入荷量は安定するが、玉が下り小玉メインの入荷になる見込み。価格は中旬から上昇してくる見込み。			
			総入荷量 300 t		前年比 91 %	
ミニトマト	¥ 724	¥ 750	▲	△	=	¥ 1,100 (¥ 1,212)
	産地概況		北海道産主体に長野・愛知・石川県産の入荷。全体的に夏作の減少に伴い入荷量は減少に向かう。愛知県産は中旬以降出回り始めるが量的には少ない。価格は上向きとなって進んでいく。			
			総入荷量 55 t		前年比 128 %	

△強い ▲強保合 =保合 ▼弱保合 ▽弱い 単位:円/kg

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

ピーマン	¥ 605	¥ 630	▲	=	▼	¥ 690 (¥ 716)
	産地概況	北海道産主体に長野・茨城・高知産の入荷。前年より安定した入荷となる予想。単価は前年よりやや下げとなる見通し。				
		総入荷量 40 t		前年比 114 %		
豆類	¥ 1,100	¥ 1,200	▲	=	▲	¥ 1,300 (¥ 1,376)
	産地概況	いんげんは長野・群馬・山梨県産、キヌサヤは北海道産、枝豆は山形県産の入荷。全体的に豆類の作況は芳しくなく数量は昨年同様に少ない見通し。価格は前年並みの推移となる見通し。				
		総入荷量 5 t		前年比 104 %		

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

大根	¥ 169	¥ 100	▲	▲	▲	¥ 140 (¥ 153)
	産地概況	岐阜・北海道・青森産等の入荷。順調な入荷予定だが、中旬にかけて一部北海道産は、降雨の影響で播種できていない時期となり出荷減の見込み。				
		総入荷量 330 t			前年比 102 %	
かぶ	¥ 196	¥ 166	=	▲	▲	¥ 200 (¥ 216)
	産地概況	青森産の入荷。本年産は播種時期の大きな天候の乱れもなく、3Lメインの入荷見込み。				
		総入荷量 29 t			前年比 107 %	
人参	¥ 94	¥ 130	▲	=	=	¥ 140 (¥ 153)
	産地概況	北海道産主力の入荷。豊作傾向でLM中心の順調な入荷予定。				
		総入荷量 250 t			前年比 107 %	
蓮根	¥ 549	¥ 500	▼	=	▲	¥ 520 (¥ 513)
	産地概況	石川産中心（共販物と個人物）に愛知産の入荷を見込む。				
		総入荷量 40 t			前年比 100 %	
甘藷	¥ 286	¥ 290	▲	=	=	¥ 293 (¥ 300)
	産地概況	石川産中心（共販物と個人物）に茨城産他の入荷を見込む。				
		総入荷量 220 t			前年比 97 %	
馬鈴薯	¥ 230	¥ 150	=	=	▼	¥ 140 (¥ 150)
	産地概況	北海道各地から順調な入荷を見込んでいる。9月に入ると早生種から男爵系主力の入荷となる。現状の生育の発生比率はLが圧倒的に多く、次いでLMで2Lは極端に少ないが、今後は太物の出荷比率は増加傾向となる見込み。				
		総入荷量 300 t			前年比 113 %	
長芋	¥ 416	¥ 420	=	=	▼	¥ 400 (¥ 478)
	産地概況	北海道産主力の入荷。最需要期は過ぎるも全体量は多くなく堅調推移の予想。道産は太物中心の入荷が見込まれるが、青森産については出回り量も少なく入荷は不透明。				
		総入荷量 55 t			前年比 100 %	

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

玉葱	¥ 133	¥ 125	▼	▼	=	¥ 115 (¥ 145)
	産地概況	北海道各産地より順調な入荷が見込まれる。不作であった昨年とは異なり生育期の環境は良く大玉中心であるが、M下の比率は平年に比べても低い予想。価格も平年並みを見込む。				
		総入荷量 580 t		前年比 131 %		

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

みかん	¥	¥ 350		=	▼	¥ 350 (¥ 35)
	産地概況	JAみなみ筑後の入荷。小玉傾向で推移する。				
		総入荷量 84 t		前年比 100 %		
柿	¥	¥	=	▼	▼	¥ 500 (¥ 548)
	産地概況	和歌山・奈良県産の入荷。まとまった雨量もあり2L中心で平年並みの入荷を見込む。				
		総入荷量 18 t		前年比 128 %		
梨	¥ 594	¥ 555	=	=	▼	¥ 500 (¥ 500)
	産地概況	石川県産の入荷。幸水が終了し、豊水、南水、あきづきの入荷となる。前進出荷となり大玉傾向。また、加賀しずくは上旬で終了となる。				
		総入荷量 240 t		前年比 101 %		
メロン	¥ 712	¥ 710	=	=	▼	¥ 700 (¥ 704)
	産地概況	静岡産主体に上旬より石川産の入荷。両産地共に前進出荷傾向で、やや小玉傾向での入荷が予想される。				
		総入荷量 55 t		前年比 94 %		
りんご	¥ 397	¥ 389	=	▲	=	¥ 350 (¥ 387)
	産地概況	長野県・青森県産サンつがる、青森県産きおうの入荷。長野県産サンつがるは上旬には終了予定。				
		総入荷量 100 t		前年比 121 %		
ぶどう	¥ 1,600	¥ 1,600	▼	=	▲	¥ 1,600 (¥ 1,585)
	産地概況	山梨・長野産シャインマスカット中心の入荷を予定。大房傾向での入荷。				
		総入荷量 113 t		前年比 100 %		
いちじく	¥ 1,078	¥ 970	=	▲	=	¥ 1,032 (¥ 1,006)
	産地概況	石川県・愛知県産いちじくの入荷。前半は数量減の予想。中旬にかけて両産地とも入荷増になる見込み。				
		総入荷量 31 t		前年比 106 %		

品目	先月の単価		当月の市況推移			
	上中旬	下旬見込	上旬	中旬	下旬	予想平均単価（前年）

バナナ	¥ 252	¥ 250	=	=	=	¥ 250 (¥ 201)
	産地概況	フィリピン産は天候と害虫の影響でハイランドを中心に全体で入荷減となり、この影響は10月上旬までを見込んでいる。南米産は順調な入荷予想。				
		総入荷量 1,160 t			前年比 83.0 %	
オレンジ	¥ 295	¥ 290	=	=	=	¥ 290 (¥ 286)
	産地概況	オーストラリア産ネーブルの継続販売、10/初よりバレンシアの併売となる。価格は保合で推移。				
		総入荷量 22 t			前年比 85.0 %	
グレープフルーツ	¥ 230	¥ 220	=	=	=	¥ 220 (¥ 173)
	産地概況	南アフリカ産は前年並みの入荷予想。次産地はメキシコ産を予定。				
		総入荷量 28 t			前年比 95.0 %	
レモン	¥ 405	¥ 390	=	=	=	¥ 390 (¥ 357)
	産地概況	チリ産の継続販売。入荷のピークは過ぎたものの、安定した物量を確認する。価格は保合で推移。				
		総入荷量 7 t			前年比 85.0 %	
パイナップル	¥ 247	¥ 240	=	=	=	¥ 240 (¥ 188)
	産地概況	フィリピン産の入荷。大玉、小玉サイズともに順調な入荷。価格は保合で推移。				
		総入荷量 40 t			前年比 89.0 %	
キウイ	¥ 660	¥ 650	=	=	=	¥ 650 (¥ 726)
	産地概況	ニュージーランド産ゴールドキウイは前年以上の入荷で、中心サイズから潤滑にあり。グリーンキウイは大幅な前年割れ、特に小玉が不足。9月の売り込みに影響はないもののゴールドは12/初、グリーンは11/中あたりの終売予想。				
		総入荷量 120 t			前年比 90.0 %	